

月 日

きそシート7	問題用紙	年 組 番	名前
--------	------	-------	----

答えは、<sup>かいとう</sup>解答用紙の解答らんに書きましょう。

(一) 次の1～8の計算をしましょう。

1  $0.6 \times 3$

2  $2.3$   
 $\times 5$   

---

3  $3.4$   
 $\times 76$   

---

4  $0.8 \div 2$

5  $3 \overline{)3.9}$

6  $14 \overline{)18.9}$

7  $\frac{2}{7} + \frac{1}{7}$

8  $1\frac{2}{5} - \frac{3}{5}$

(二) 右の表は平成27年12月1日現在の<sup>えひめけん まつやまし</sup>愛媛県と松山市の人口を表したものです。

愛媛県と松山市の人口

	人 口
愛媛県	1383584 人
松山市	515849 人

※愛媛県推計人口（愛媛県統計課）より

1 それぞれの人口を<sup>ししやごにゆう</sup>四捨五入して、<sup>くらい</sup>十万の位までの<sup>がい</sup>数が表すと何人ですか。答えを書きましょう。

2 それぞれの人口を四捨五入して、上から2けたの<sup>がい</sup>数が表すと何人ですか。答えを書きましょう。

(三) <sup>ししやごにゆう</sup>四捨五入して<sup>くらい</sup>百の位までの<sup>がい</sup>数にすると7300になる整数のうち、いちばん小さい整数といちばん大きい整数はいくらですか。答えを書きましょう。

(四) 次の1、2のかけ算の<sup>せき</sup>積やわり算の商を下の $\boxed{\quad}$ の方法で<sup>みつ</sup>見積もるときの式と答えを書きましょう。

1  $526 \times 765$

2  $7224 \div 84$

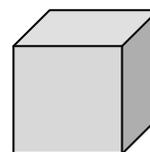
- かけ算の積を見積もるには、かけられる数もかける数も上から1けたの<sup>がい</sup>数にしてから計算します。
- わり算の商を見積もるには、わられる数を上から2けた、わる数を上から1けたの<sup>がい</sup>数にしてから計算します。

(五) 右の表は、ある組で妹や弟がいるかどうかを調べた結果をまとめたものです。妹も弟もいない人は何人ですか。答えを書きましょう。

妹や弟がいる人調べ (人)

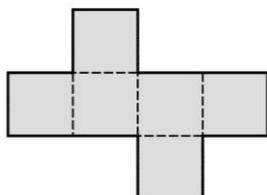
		弟		合 計
		い る	い ない	
妹	い る	9	12	21
	い ない	7	11	18
合 計		16	23	39

(六) 次のア～ウのてん開図のうち、組み立てたときに立方体になるものを1つ選んで、その記号を書きましょう。

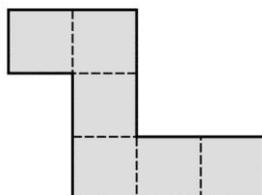


立方体

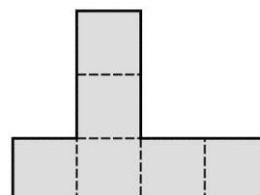
ア



イ



ウ



月 日

きそシート7	かいとう 解答用紙	年 組 番	名前
--------	--------------	-------	----

(一)

1		2		3	
4		5		6	
7		8			

(二)

1	えひめけん 愛媛県	人	まつやまし 松山市	人
2	愛媛県	人	松山市	人

(三)

いちばん 小さい整数		いちばん 大きい整数	
---------------	--	---------------	--

(四)

1	みつ 見積もりの式	×	答え	
2	見積もりの式	÷	答え	

(五)

	人
--	---

(六)

--

すばやく解けるようになつたかな。次のシートも、  
どんどん解いていこうね。



<b>きそシート 7</b>	<b>正 答 例</b>
----------------	--------------

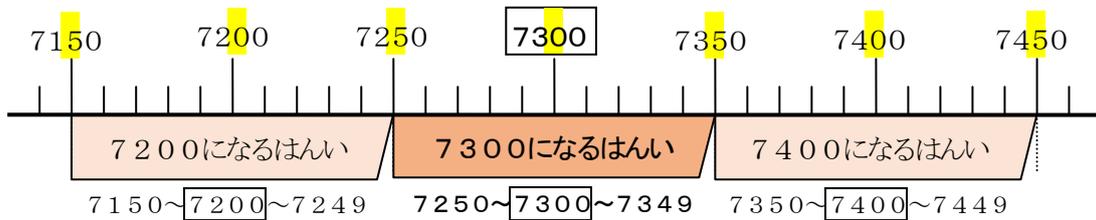
- (一) 1 1.8                    2 11.5                    3 258.4                    4 0.4
- 5 1.3                    6 1.35                    7  $\frac{3}{7}$                     8  $\frac{4}{5}$

- (二) 1 <sup>えひめけん</sup>愛媛県 1400000人 <sup>まつやまし</sup>松山市 500000人
- 2 愛媛県 1400000人 松山市 520000人

- (三) いちばん小さい整数 7250                    いちばん大きい整数 7349

(考え方)

百の位くらひまでのがい数にするときは、十の位ししやごにゆうを四捨五入します。  
 十の位が0～4までの数は切り捨て、5～9までの数は切り上げます。  
 7300になるはんいは、次のとおりです。



- (四) 1 <sup>みつ</sup>見積もりの式  $500 \times 800$                     答え 400000
- 2 見積もりの式  $7200 \div 80$                     答え 90

- (五) 11人

- (六) ア

(考え方)

立方体は6面でできています。2面が重なれば、5面しか作れないため、立方体にはなりません。

○ たとえばウの場合

